

# 生体分子との相互作用制御を実現する 革新的な温度応答型水圏機能材料の創製



長瀬 健一  
慶應義塾大学  
准教授

温度変化により水和・脱水和を起こす温度応答性高分子を修飾した材料は、界面の親水性・疎水性を変化させ、タンパク質や細胞との相互作用を制御することができます。この特性を用いて分離材料としての検討が行なわれています。しかし現段階では、温度応答性高分子の分離材料としての十分な性能を引き出せていない可能性があります。

そこで本研究では、温度応答性高分子近傍の水分子挙動の詳細な解析を行ないます。これにより、さらなる機能性を有する温度応答性高分子界面の設計指針を構築し、革新的な分離材料の創出を目指します。

